

青雲の鐘 なるところ

令和5年度 第33代校長 寺田 是

市内で最も古い歴史と伝統を有する中学校

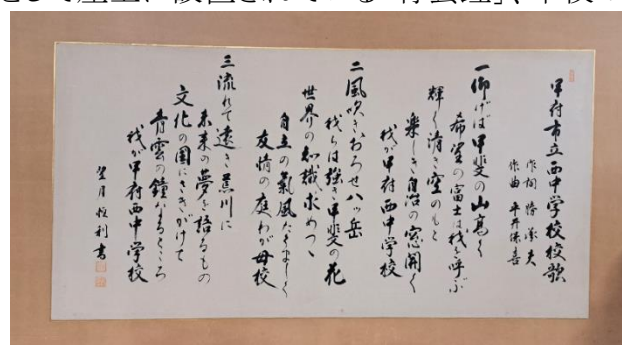
本校は、昭和12年に創立された「甲府市立男子高等小学校」を前身とし、終戦後に敷設された新しい学制に基づき、昭和22年4月22日に、東中・南中・北中とともに開校した市内で最も古い歴史と伝統を有する学校であり、これまでに2万7千余の卒業生を輩出しています。

本校区は、東側は、JR甲府駅南口を中心に官公庁をはじめ商業、居住などの多様な都市機能が集積した中心市街地を、西側は、田園風景の中の新興住宅地に加えて山梨県立大学や4つの高等学校が所在する文教地区を有しています。

引き継がれた創立の精神 「青雲の志」

校歌の3番には、「…未来の夢を語るもの 文化の国にさきがけて 青雲の鐘 なるところ…」というフレーズがあります。他にも、本校のシンボルとして屋上に設置されている「青雲鐘」、本校の学園祭「青雲祭」、生徒会誌「青雲鐘」など、創立77年を迎える本校の伝統・校風を語るときに、欠くことのできないのが、「青雲の志」です。

「青雲の志」は、中国の古典に由来する言葉で、「立身出世の願い」と解されます。本校では、これを現代風に解釈し直し、「雲よりも遙か上にある青空のような高い目標を持ち、その実現に向けて歩もうとする強い気持ち」のことと生徒達に説明しています。



令和5年度の教育活動

今年度は、学校教育目標「知を磨き、豊かな心とたくましい体をもった生徒の育成」の実現に向け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善、人権教育や道徳教育の推進等による思い遣る心の育成などの重点を定め、教職員が一丸となって取り組んでいきます。

また、一人一台端末を効果的に活用した授業や家庭学習の取組、一人一人にとって安全・安心が確保され居場所のある学級づくり、さらには、地域とともにある学校を実現するための学校運営協議会の設置など、今日的課題にも積極的に取り組んでいきます。

私たち教員及びスタッフは、全ての生徒の成長をサポートするためにいることを自覚し、使命感を持って、日々の教育活動に当たっていきます。

生徒の様子

4月現在、本校の生徒387名（1年生132名、2年生129名、3年生126名）を数えます。「誇れる西中」を合い言葉に、「あいさつ、清掃、時間」を中心に日常生活の充実に取り組むとともに、落ち着いた雰囲気の中で、日々の授業や部活動に、真剣かつ和気藹々と臨んでいます。自治的活動である生徒会活動も活発であり、今年度は、アフター・コロナを見据えつつ、伝統の復活とともにコロナ禍を経た現在に相応しい新たな取組の展開が期待されます。

保護者・地域の方々には、本校の教育に、いっそうのご理解とご協力をいただき、地域の宝であり、未来でもある、子どもたちの健全な成長を共に支えていければと思っております。どうぞ、一年間、よろしくお願いいたします。

※本校の学校教育目標や学校経営方針の詳細、及び日々の学校の様子などにつきましては、このホームページで随時お知らせしていきますので、折に触れ、ご覧いただけると幸いです。